

2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オリエンタルランド
コード番号 4661 URL <http://www.olic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上西 京一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 堀川 健司

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

TEL 047 - 305 - 2035

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	170,581	63.3	45,989		49,205		54,190	
2020年3月期	464,450	11.6	96,862	25.1	98,062	24.2	62,217	31.1

(注) 包括利益 2021年3月期 49,424百万円 (%) 2020年3月期 51,649百万円 (44.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	165.51		6.9	4.8	27.0
2020年3月期	189.23	183.31	7.7	9.5	20.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 485百万円 2020年3月期 183百万円

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,040,465	759,948	73.0	2,320.71
2020年3月期	1,010,651	820,257	81.2	2,505.55

(参考) 自己資本 2021年3月期 759,948百万円 2020年3月期 820,257百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	23,834	160,738	88,724	165,317
2020年3月期	73,336	20,534	55,257	261,164

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		22.00		22.00	44.00	14,451	23.2	1.8
2021年3月期		13.00		13.00	26.00	8,519		1.1
2022年3月期(予想)								

(注) 1. 配当金総額には、従業員持株会型ESOPの信託口に対する配当金支払額(2020年3月期14百万円、2021年3月期6百万円)を含んでおります。配当性向は、この配当金総額を親会社株主に帰属する当期純利益で除して算出しています。

2. 2022年3月期の第2四半期末及び期末の配当については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	363,690,160 株	2020年3月期	363,690,160 株
期末自己株式数	2021年3月期	36,226,898 株	2020年3月期	36,313,892 株
期中平均株式数	2021年3月期	327,421,164 株	2020年3月期	328,800,343 株

(注)従業員持株会型ESOPの信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	146,015	63.2	36,405		39,184		37,226	
2020年3月期	396,308	11.9	82,968	24.3	94,432	20.5	62,977	26.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	113.70	
2020年3月期	191.54	185.54

(注)当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,001,469	715,398	71.4	2,184.67
2020年3月期	959,056	760,688	79.3	2,323.59

(参考) 自己資本 2021年3月期 715,398百万円 2020年3月期 760,688百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

※ 当社は、以下のとおり投資家向け電話説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・ 2021年4月28日(水)・・・・・・機関投資家向け決算電話説明会

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における国内経済は、各種政策の効果などにより個人消費は一時的に持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、厳しい状況が続きました。

新型コロナウイルス感染症流行の状況並びに政府、自治体からの要請等を踏まえ、当社グループの運営する東京ディズニーランド・東京ディズニーシーは2020年2月29日から6月30日まで臨時休園を実施いたしました。これに伴い、特別損失として臨時休園による損失12,965百万円を計上しております。

また、7月1日より両パークの営業を再開いたしましたが、新型コロナウイルス感染症流行を予防するための対策として、「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」や、緊急事態宣言に伴う政府、自治体からの要請に準じて営業いたしました。

入園券種の限定やチケットの価格改定などにより、ゲスト1人当たり売上高は増加したものの、両パークを6月30日まで臨時休園したことや、営業再開後も入園者数を制限していることなどから、テーマパークの入園者数は減少しました。その結果、売上高は170,581百万円（前年同期比63.3%減）、営業損失は45,989百万円（前年同期は営業利益96,862百万円）、経常損失は49,205百万円（前年同期は経常利益98,062百万円）となりました。また、臨時休園による損失及びホテルセグメントのブライトンホテル事業に関する固定資産について減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は54,190百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益62,217百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

2021年3月期 セグメント別業績の概況

(単位：百万円)

	前期	当期	増減	増減率 (%)
売上高	464,450	170,581	△293,869	△63.3
テーマパーク	384,031	134,293	△249,737	△65.0
ホテル	64,375	28,627	△35,747	△55.5
その他	16,043	7,660	△8,383	△52.3
営業利益又は営業損失 (△)	96,862	△45,989	△142,852	—
テーマパーク	79,660	△41,982	△121,643	—
ホテル	14,769	△1,954	△16,723	—
その他	2,161	△2,312	△4,474	—
消去又は全社	271	260	△11	△4.2
経常利益又は経常損失 (△)	98,062	△49,205	△147,268	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	62,217	△54,190	△116,408	—

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産の部合計は、1,040,465百万円（前期末比2.9%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少などにより、274,134百万円（同13.5%減）となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加などにより、766,331百万円（同10.4%増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末の負債の部合計は、280,517百万円（同47.3%増）となりました。

流動負債は、1年内償還予定の社債の増加などにより、121,370百万円（同20.8%増）となりました。

固定負債は、社債の増加などにより、159,147百万円（同77.0%増）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の部合計は、利益剰余金の減少などにより、759,948百万円（同7.4%減）となり、自己資本比率は73.0%（同8.2ポイント減）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスになったものの、営業活動によるキャッシュ・フロー及び投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスになったことから、165,317百万円（前期末残高261,164百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、△23,834百万円（前年同期73,336百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が減少した要因は、税金等調整前当期純損失を計上したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△160,738百万円（同20,534百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が減少した要因は、定期預金の払戻による収入が減少したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、88,724百万円（同△55,257百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が増加した要因は、社債の発行による収入が増加したことなどによります。

(4) 今後の見通し

千葉県浦安市に「まん延防止等重点措置」が適用されており、今後も、レジャーに対する消費マインドの動向等、外部環境の状況によっては、通常レベルの営業に至るまでに期間を要する可能性があります。

このような状況のなか、合理的な業績予想を示すことは非常に困難なことから、連結業績予想については、予測可能となり次第速やかに開示することといたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,164	197,317
受取手形及び売掛金	7,225	12,040
有価証券	19,999	33,495
商品及び製品	11,679	12,511
仕掛品	172	118
原材料及び貯蔵品	8,236	8,901
その他	8,263	9,757
貸倒引当金	△0	△8
流動資産合計	316,741	274,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	723,221	760,158
減価償却累計額	△432,208	△444,747
建物及び構築物 (純額)	291,012	315,411
機械装置及び運搬具	283,504	303,330
減価償却累計額	△248,946	△255,481
機械装置及び運搬具 (純額)	34,557	47,849
土地	117,653	115,890
建設仮勘定	152,165	165,344
その他	94,914	106,873
減価償却累計額	△79,716	△85,810
その他 (純額)	15,197	21,063
有形固定資産合計	610,586	665,557
無形固定資産		
その他	16,334	17,111
無形固定資産合計	16,334	17,111
投資その他の資産		
投資有価証券	46,925	49,601
退職給付に係る資産	5,492	8,857
繰延税金資産	5,524	17,639
その他	9,134	7,660
貸倒引当金	△88	△97
投資その他の資産合計	66,989	83,662
固定資産合計	693,910	766,331
資産合計	1,010,651	1,040,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,921	9,072
1年内償還予定の社債	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	4,580	3,859
未払法人税等	7,991	9,023
その他	74,001	69,414
流動負債合計	100,495	121,370
固定負債		
社債	80,000	150,000
長期借入金	2,488	2,364
退職給付に係る負債	3,537	3,030
その他	3,873	3,752
固定負債合計	89,898	159,147
負債合計	190,394	280,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,201	63,201
資本剰余金	111,970	112,001
利益剰余金	744,452	678,792
自己株式	△109,325	△108,771
株主資本合計	810,298	745,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,623	12,449
繰延ヘッジ損益	74	137
退職給付に係る調整累計額	261	2,137
その他の包括利益累計額合計	9,958	14,724
純資産合計	820,257	759,948
負債純資産合計	1,010,651	1,040,465

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	464,450	170,581
売上原価	300,601	※1 169,678
売上総利益	163,849	902
販売費及び一般管理費	66,986	※1 46,891
営業利益又は営業損失 (△)	96,862	△45,989
営業外収益		
受取利息	162	67
受取配当金	758	542
受取保険金・保険配当金	437	347
その他	1,224	876
営業外収益合計	2,582	1,833
営業外費用		
支払利息	291	353
持分法による投資損失	183	485
支払手数料	582	821
減価償却費	—	1,026
割増退職金	37	1,813
その他	287	548
営業外費用合計	1,382	5,049
経常利益又は経常損失 (△)	98,062	△49,205
特別利益		
投資有価証券売却益	341	—
特別利益合計	341	—
特別損失		
臨時休園による損失	※1, ※2 9,270	※1, ※2 12,965
減損損失	—	5,633
特別損失合計	9,270	18,598
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	89,133	△67,804
法人税、住民税及び事業税	25,048	479
法人税等調整額	1,868	△14,092
法人税等合計	26,916	△13,613
当期純利益又は当期純損失 (△)	62,217	△54,190
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	62,217	△54,190

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	62,217	△54,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,697	2,826
繰延ヘッジ損益	74	63
退職給付に係る調整額	△944	1,876
その他の包括利益合計	△10,568	4,766
包括利益	51,649	△49,424
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	51,649	△49,424
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,938	696,718	△89,183	782,674
当期変動額					
剰余金の配当			△14,484		△14,484
親会社株主に帰属する当期純利益			62,217		62,217
自己株式の取得				△20,745	△20,745
自己株式の処分		31		603	635
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	31	47,733	△20,141	27,623
当期末残高	63,201	111,970	744,452	△109,325	810,298

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	19,320	—	1,206	20,526	803,201
当期変動額					
剰余金の配当					△14,484
親会社株主に帰属する当期純利益					62,217
自己株式の取得					△20,745
自己株式の処分					635
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△9,697	74	△944	△10,568	△10,568
当期変動額合計	△9,697	74	△944	△10,568	17,055
当期末残高	9,623	74	261	9,958	820,257

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,970	744,452	△109,325	810,298
当期変動額					
剰余金の配当			△11,469		△11,469
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△54,190		△54,190
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		30		555	586
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	30	△65,660	553	△65,075
当期末残高	63,201	112,001	678,792	△108,771	745,223

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	9,623	74	261	9,958	820,257
当期変動額					
剰余金の配当					△11,469
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△54,190
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					586
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,826	63	1,876	4,766	4,766
当期変動額合計	2,826	63	1,876	4,766	△60,308
当期末残高	12,449	137	2,137	14,724	759,948

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	89,133	△67,804
減価償却費	39,447	45,899
減損損失	—	5,633
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△814	△304
受取利息及び受取配当金	△920	△610
支払利息	291	353
為替差損益(△は益)	2	0
持分法による投資損益(△は益)	183	485
投資有価証券売却損益(△は益)	△341	△0
売上債権の増減額(△は増加)	14,742	△5,008
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,764	△1,441
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,384	△5,260
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,748	1,608
その他	△11,176	2,678
小計	111,653	△23,770
利息及び配当金の受取額	991	672
利息の支払額	△291	△347
法人税等の支払額	△39,016	△389
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,336	△23,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△340,000	△70,000
定期預金の払戻による収入	500,000	31,000
有価証券の取得による支出	△67,996	△40,997
有価証券の償還による収入	63,997	36,999
有形固定資産の取得による支出	△126,974	△111,607
無形固定資産の取得による支出	△7,358	△5,342
投資有価証券の取得による支出	△1,499	△455
投資有価証券の売却による収入	1,854	—
その他	△1,489	△334
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,534	△160,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,000	3,736
長期借入金の返済による支出	△6,354	△4,580
社債の発行による収入	—	99,707
社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△14,444	△11,439
自己株式の取得による支出	△20,745	△1
自己株式の売却による収入	1,309	1,314
その他	△22	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,257	88,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	38,613	△95,847
現金及び現金同等物の期首残高	222,551	261,164
現金及び現金同等物の期末残高	261,164	165,317

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループの主力事業であるテーマパーク並びにホテルは臨時休業をしておりました。テーマパークは2020年7月1日より営業を再開しておりますが、再開後も「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に沿った対策を講じており、入園者数を制限して運営しております。また、レジャーに対する消費マインドの動向等、外部環境の状況によっては、通常レベルの営業に至るまでに期間を要する可能性があります。これらのことから、翌連結会計年度の業績にも重要な影響が見込まれます。

(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)

前連結会計年度末及び第1四半期連結会計期間末において、当社グループでは新型コロナウイルス感染症流行の影響が当連結会計年度の一定期間にわたり継続するものと仮定し、様々な会計上の見積りを行っておりました。

第2四半期連結会計期間より、新型コロナウイルス感染症流行の影響の長期化を踏まえ、翌連結会計年度の一定期間にわたり継続するものと仮定を置きなおし、固定資産の減損判定及び繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りを行っております。その結果、ホテルセグメントのブライトンホテル事業に関する固定資産について、減損損失を計上しております。また、繰延税金資産の回収可能性について見直しを行い、繰延税金資産の一部を取り崩しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには極めて高い不確実性を伴うため、当該影響が想定以上に長期化した場合や深刻化した場合には、翌連結会計年度以降の業績に更なる影響を及ぼす可能性があります。

(連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

当社グループは、新型コロナウイルス感染症流行の影響に伴い臨時休業を実施したこと等により、支給した休業手当等について雇用調整助成金の特例措置の適用を受けております。これに伴い、前連結会計年度は雇用調整助成金の受給見込額を特別損失から控除し、当連結会計年度は雇用調整助成金の既受給額及び受給見込額を売上原価から7,987百万円、販売費及び一般管理費から1,212百万円、特別損失から13,109百万円控除しております。

※2 臨時休園による損失

新型コロナウイルス感染症流行の状況並びに政府、自治体からの要請等を踏まえ、当社グループの運営する東京ディズニーランド・東京ディズニーシーは2020年2月29日から6月30日まで臨時休園を実施いたしました。このため、主に臨時休園期間中のテーマパーク事業で発生した固定費（人件費・減価償却費など）等を特別損失に計上しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社の関係会社は、テーマパーク及びホテル等の経営・運営を主な事業としていることから、サービスの種類・性質及び販売市場の類似性等を考慮し、「テーマパーク」及び「ホテル」を報告セグメントとしております。

「テーマパーク」はテーマパークを経営・運営しております。「ホテル」はホテルを経営・運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失(△)は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	384,031	64,375	448,406	16,043	464,450	—	464,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,676	558	7,235	3,905	11,140	△11,140	—
計	390,708	64,934	455,642	19,948	475,591	△11,140	464,450
セグメント利益	79,660	14,769	94,429	2,161	96,591	271	96,862
セグメント資産	813,807	85,384	899,191	45,641	944,832	65,819	1,010,651
その他の項目(注) 4							
減価償却費	30,532	3,873	34,405	2,396	36,802	△41	36,760
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	129,930	5,117	135,048	4,607	139,655	△28	139,626

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。

2. (1) セグメント利益の調整額は271百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額65,819百万円には、セグメント間取引消去△2,106百万円、各セグメントに配分していない全社資産67,925百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金、有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	134,293	28,627	162,921	7,660	170,581	—	170,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,682	359	4,041	3,651	7,692	△7,692	—
計	137,975	28,986	166,962	11,311	178,274	△7,692	170,581
セグメント損失（△）	△41,982	△1,954	△43,937	△2,312	△46,249	260	△45,989
セグメント資産	748,559	104,187	852,747	47,653	900,400	140,065	1,040,465
その他の項目（注） 4							
減価償却費	30,894	3,051	33,945	2,787	36,733	△45	36,687
減損損失	—	5,633	5,633	—	5,633	—	5,633
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	77,795	26,716	104,511	3,811	108,322	—	108,322

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。
2. (1) セグメント損失（△）の調整額は260百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。
 (2) セグメント資産の調整額140,065百万円には、セグメント間取引消去△3,031百万円、各セグメントに配分していない全社資産143,096百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金（現金及び預金、有価証券）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。
3. セグメント損失（△）は連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 減価償却費、減損損失、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額、減損額及び増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,505.55円	2,320.71円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	189.23円	△165.51円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	183.31円	—

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額(△)であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は 親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (百万円)	62,217	△54,190
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額又は親会社株主に帰属する当期 純損失金額(△)(百万円)	62,217	△54,190
普通株式の期中平均株式数(千株)	328,800	327,421
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	212	—
(うち支払手数料(税額相当額控除後) (百万円))	(212)	—
普通株式増加数(千株)	11,778	—
(うち新株予約権(千株))	(11,778)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

- (注) 従業員持株会型E S O Pの信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度310千株、当連結会計年度225千株)。また、「1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度356千株、当連結会計年度267千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。